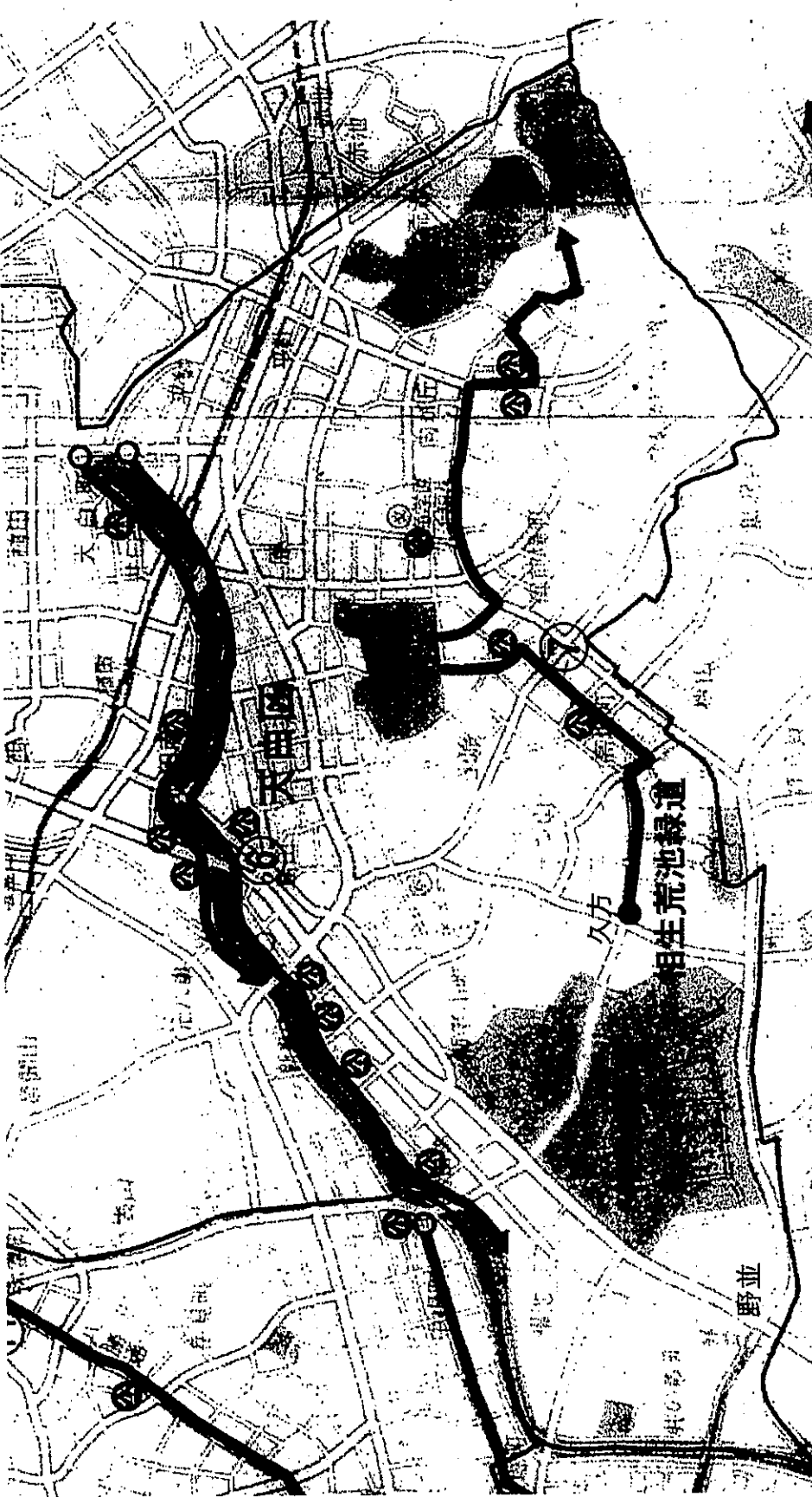




名称 相生荒池緑道

起点～終点 相生山緑地～荒池緑地

計画距離 4.6 km

整備済距離 2.12 km (進捗率 46%)

整備時期 昭和 57 年～平成 14 年

緑道のタイプ 広域的散策系緑道

(週末のサイクリング、ハイキングなどの広域的利用の他、日常の散策などの利用にも備えた、大規模公園・緑地などの基幹的都市施設を結ぶ基幹的緑道とすることを目標とする。整備にあたっては、植栽の充実、緑道空間の拡大に努めるとともに、ストリートファニチャーの質の向上などにより、景観の向上を図る。)

凡例

記号	名 称
—	緑道整備路線
○	起点
△	終点
—	市区界
■	大規模公園緑地など
⊙	公園・街園など

緑道の整備

(1) あらまし

緑道とは、自動車の通行を抑制し、緑や安全性、快適性を高度に配慮した緑豊かな“人間優先のみち”であり、散策・ショッピング・サイクリングなどに利用され、また街の景観を向上させるとともに、災害時には、避難路としても役立つ道である。

さらに、緑道は、公園・学校・駅等を有機的に結ぶ“緑のネットワーク”を形成することによって、各施設の機能を一層向上させるとともに、市民の生活環境改善に大きな効果をもたらすものである。

本市では、昭和 56 年 9 月、緑道整備基本計画を策定し、既存の道路や河川堤防、水路などを利用して 1 区 2 路線を目標に 36 路線 169 km の緑道整備路線を定めた。

(2) 緑道整備状況

平成 21 年 4 月 1 日現在、34 路線で工事着手されており 130.8 km が整備されている。(進捗率 77%)。

今後、緑道整備にあたっては、沿道住民および、関係機関の理解と協力のもとに、車線整理などによる歩道の緑道化や河川、水路の改造等による緑道化を進める一方、新たな市街地整備に際しては、緑道を系統的に整備していくなど、積極的な努力が必要である。

「みどりの会報」より

FAX送信票

平成 15年 10月1日

送信先	野田 様
	送信枚数 送信票を含め 1枚
発信者	緑化推進課 計画推進係 緑化
	TEL 972-2494 FAX 972-4142 氏名 武藤 崇史

先日ご訪問の際にお尋ねになられた件につきまして、回答いたします。

名古屋市の緑道は、昭和56年に策定されました「名古屋市緑道整備基本計画」に基づいて整備されており、相生・荒池緑道を整備路線に指定されております。

「名古屋市緑道整備基本計画」に基づく相生・荒池緑道の具体的な整備計画については、昭和58年発行の「相生・荒池緑道整備計画書」に記載されております。

上記基本計画および計画書によりますと、

- ①「緑道」の意義のひとつとして、歩行者、自転車利用者が自動車に阻害されない、緑や安全性・快適性を高度に配慮した「うるおいのあるみち」であることを掲げている。
- ②相生・荒池緑道のもととなる道路は「基幹生活道路」と位置付けており、計画書では「周辺都市幹線道路からの流入・通過交通の増加は、あまりないものと考えられる。」としている。
- ③緑道整備前の課題として、「地区内の安全な歩行路として、公園・緑地あるいは、公共施設を連絡する緑道の整備がなされていない」ことが挙げられている。
- ④都計道路ではないため、広域的ネットワークとしてとらえられていない。

以上のような理由より、S61年に歩道幅員を片側3.5mから4.5mへ拡幅する歩行者優先の緑道整備を行ったものです。

なお、基本計画策定時には緑道に関する市民意識のアンケートを実施しております。

相生・荒池緑道沿線の方々との話し合いの記録は見つけることができませんでした。が、当時の担当者へ聞き取りを行ったところ、地元への事業説明はしっかりと行いましたとのことでした。

以上、ご報告いたします。